

# 暮らしを支え、彩る、住まいの扉

朝目覚めてから、夜眠りにつくまでの間に、家の中の扉を何回開け閉めしていますか？  
おそらくあまり意識する機会はないのではないのでしょうか。  
では、お友達の家など初めての場所を訪れたとき、「この扉の奥にはどんな空間が広がっているのかな？」と想像してワクワクしたことはありませんか？

——扉を開ける——

それは、日常の中で当たり前のように行なっている行為でありながらも、とてもドラマティックな瞬間という一面もあるのです。

今回は、そうした「住まいの扉」がテーマです。

その機能やデザイン、グランドメゾンならではのこだわりについて考えていきます。

白い壁と天井のリビングに、床材と色を合わせた木目の扉をコーディネート。グリーンアクセント壁や観葉植物とのコーディネートにより、ナチュラルな空間にしています。正面奥の壁面収納は、天井までの高さがあり取手のないすっきりした扉で、LDKののびやかなイメージを邪魔しません。(グランドメゾンギャラリー池下/愛知県)

# 扉は出入り口という役割があるだけでなく、 インテリアの方向性を定める重要な要素なんです。

(佐藤)

## 空間を創り、演出する インテリアとしての扉

あらためて考えてみると、住まいの中には多くの扉がありますね。  
「建築用語では、建具」という言葉を使いますが、そこにはリビングや各個室の出入扉、収納の扉、玄関扉、窓のサッシなどが含まれます。意外に思われるかもしれませんが、そうした建具は、空間のトータルイメージを演出する上で重要なアイテムなんですよ(棟村)」「インテリアを考える際、床や壁の色・素材などはよく着目されますが、家具を置いてラグを敷いてみると隠れてしまう部分も多いんです。でも扉は開閉するところですから、家具などで隠れることがありません。そのため、インテリアコーディネートの要とも言えるので



邸宅の趣を高めているのは、存在感のある大きな引き戸。素材や色に統一感があるため、落ち着いた上質な空間に仕上がっています。(GM上原サロン/東京都)

「たとえば壁と扉を白で統一すればシンプルで広々とした空間になりますし、床と色を合わせた木調の扉にすれば落ち着いた雰囲気。また、あえて全く違う色にして存在感のある魅せる扉とするのもいいでしょう。扉の選び方次第でイメージが大きく変わります(石井)」「住まいの扉の中でも、リビング扉はアクセントとして特徴的なデザインや色にすることもあります。スリットや小窓、袖壁にガラスを使うなど、光が通る扉を採用する例も多いですね。家族が集まる場なので、人の気配を感じられる扉は安心感を与えてくれます(松井)」「空間に広がりをもたらす透明、ほどよく視線を遮るカスミ調、デザインを施した表情豊かなものなどガラスの種類によっても趣は変わります(佐藤)」



意匠性の高い両開きの扉にデザインガラスの袖壁を設けることで、重厚感の中に明るさをプラス。迎賓にふさわしい空間をつくり出しています。(GM芦屋船戸町/兵庫県)

## 空間やライフスタイルに ふさわしい扉を

扉の種類には引き戸や引き戸などありますが、どのように使い分けているのでしょうか？  
「空間のインテリアイメージや、住まう人のライフスタイルに応じた動線を考慮した上で、より快適な暮らしを実現できるものを選択しています(松井)」  
「それぞれにメリット・デメリットがあるんですよ。引き戸は多様なデザインのものがあり、気密性・防音性も高いのが魅力です。ただし、開閉に必要な空間がデッドスペースとなりまじ、扉の前に人がいたときにはぶつかってしまふというデメリットもあります。そのため、生活シーンをイメージしながらサイズや内開き外開き、左右どちらを吊元とするかなどを検討し、住まう人の動線を妨げず、危険の少ない開閉方法を採用します(石井)」  
「たとえば洗面室のような扉の開閉が多いところや開閉スペースがあまりとれない部屋は、



# 毎日目にして、何度も手で触れるものだから、 住まう人の感性を満たす扉を目指しています。

(松井)



## 感性に働きかける GMならではの扉

ブランドメゾン(以下、GM)ならではのこだわりポイントは、どんなところにあるのでしょうか。

「重厚感のある大型の扉や、華やかさをプラスする親子扉、扉まわりの枠を太くして上質な雰囲気にするなど、住まう人の個性やライフスタイルをイメージして、らしさを演出する扉をご提案しています。モデルルームを訪れた際には、扉のデザインに着目してみるのも面白いですよ(佐藤)」



空間を自由に仕切れるスクリーン建具のあるLDK。スクリーンを閉めても家族の気配や光を感じられます。(GM自由ヶ丘テラス/愛知県)



天井までの高さのあるウォールドアで、生活シーンに応じて空間を使えるフレキシブルな住まいに。(GM品川シーサイドの杜/東京都)



ファブリックガラスのやさしい光に包まれたウォークインクローゼット。洗練された大人のインテリア空間を演出できます。(GM東山ザ・コート/愛知県)

「扉は毎日、何度も手で触れるところなので、質感や操作性にもこだわっており、視覚や触覚、聴覚など住まう人の五感に働きかけるような工夫を凝らしています(松井)」  
「その一つに、重量感が挙げられます。たとえば高級車のドアは『ドンツ』という重みのある音がしますよね。『パタン』という軽い音とは違う。ちよつとした違いのようにも思えますが、何度も耳にするものですから日々の満足度にも影響してきます。GMの扉でも、そうした重みのある音を意図的につくり出すことがあるんですよ(石井)」  
「たとえば主に名古屋・大阪の物件に部材を供給している静岡工場では、積水ハウスの戸建て住宅の標準的な開き扉より重いものをGMのために用意しており、その扉を採用している物件もあります。もともと建具の反り止めとして仕込んである芯材の重みがあるのですが、ほどよい音・重量感を出すために芯材を増やして試行錯誤した結果、この重さになったり着きました。ただ、いくら心地いい音でも住まい全体に響いては困りますね。そこで、扉を閉めたときに当たる部分にモヘアを設置して衝撃音を吸収するようにしています(棟村)」  
「見た目がスマートというのも、大切な要素ですね。天井までの高さがあるハイドアや、廊下有効幅と同じ幅の扉にすると、閉めた時は壁面と体感があり、開けたときはのびやかな開放感が生まれます。すき間が生じる場合も幕板でカバーして美しく仕上げるほか、ド

talking member (左から順に)



- 棟村健紀:静岡工場/業務部/今、地元では秋祭りに向けた準備の真っ盛りです。一大イベントなので大変ではありますが、小学生の娘と一緒に太鼓の練習に通えるのは、父親として楽しく嬉しいひとときです。
- 石井弘行:名古屋マンション事業部/技術室/一級建築士/子育てが一段落したので妻と国内旅行を楽しんでいます。最近良かったのは湯布院。今後は東北や北関東にも足を延ばしてみたいと思っています。
- 松井理紗:名古屋マンション事業部/技術室/一級建築士/海外旅行が趣味。カメラを向ける対象が「マニアックだと友人に笑われますが、旅先で出会った建築やアートから受けた刺激は、仕事にも活かされています。
- 佐藤友厚:名古屋マンション事業部/販売営業室/2カ月前に第一子が生まれて、やっと赤ん坊の扱いに慣れてきたところです。男の子なので、将来と一緒にサッカーをしたりスポーツ観戦に行ったりしたいですね。

## 工場出荷材として供給するからできること。それは、確かな品質管理・品質保証です。(樺村)

「アクローザを扉や上枠に格納できるようにするといったちょっとしたことで、印象はかなり変わります」(松井)

「また、名古屋マンション事業部では積水ハウス独自のコーディネートシステム、SHICの色柄を基本にしています。もちろん住まい・空間のイメージに合わせて違うものを採用することもありますが、長く心地よく住んでいただきたいので、いつかの流行に流されるのではなく、普遍的なデザインをご提案しており、お客様にも「こういう色が番落ち着きますね」と共感していただくことが多いです」(佐藤)

### 確かな品質を保証する工場出荷材の安心感

オリジナルの建具は、どのようにつくられているのでしょうか。

「GMでは、数十年前から戸建て部材をマンション用にアレンジした工場出荷材を採用しているというのが、大きな特徴の一つとして挙げ



九州らしさを追求し、伊万里鍋島焼を採用したオリジナルのレバーハンドル。その質感や高度な技法により表現された立体感のある絵柄が、住まう人の心を満たします。(GM大瀬ORGA/福岡県)

「工場の出荷材とは、どのような点がいいのでしょうか？」

「一定の基準に則って生産された部材であり、品質保証という点で、ご安心いただけます。開閉繰り返し耐久試験などの多岐にわたる性能検証試験をクリアしたものはじめとして、自信を持つておすすめるものだけを出荷しています」(樺村)

「積水ハウスは累積200万戸以上の戸建て住宅建築実績があります。その部材を供給している工場のノウハウを活かせるのは我々の強みであり、誇りに感じています。レバーハンドルや扉の付属金物に「GRANDDEMAISON」のロゴや積水ハウスのマークを施すなど、オリジナルであることをさりげなく主張しているものもあるんですよ」(石井)

### 住まい手の心を満たすスマートUD

毎日のことだから、操作性も大切ですよ。

「扉は、家族みんなが開け閉めするもの。積水ハウスのスマートUDという考えに基づき、使いやすく、美しく、心地よいユニバーサルデザインを随所に施しています」(石井)

「たとえばショートストロークレバーハンドルは、ちよつと下に動かすだけで開けられるため、手首への負担を軽減できます。お行儀が悪いかもしれませんが、肘で開けることもできて、大きな荷物で両手がふさがっているときにも便利です」(樺村)



ペットが自由に入出りできるくぐり戸付きのドア。くぐり戸のサイズなどは、住生活研究所における実験から導き出した規格があります。

「手で触れたときの心地よさにも配慮し、冬場もひんやりしないように木製レバーを採用したり、金物なら指紋がつきにくい素材のもの

## ライフスタイルや時代の変化に柔軟に対応し、住まい手ファースト」を追求していきます。(石井)

### 住まい手ファーストで快適な暮らしを支える

「これからの時代に求められる扉とは、どういったものになるのでしょうか。」

「また、廊下にドアハンドルが突き出さないように配慮しており、大きな荷物を持つているときや、車いすで通るときにも引っかかりにくくしています。ドアハンドルは小さなお子様の頭くらいの高さであり、廊下に突出しているとぶつかる危険性が高いことから、子育て世帯の方にも喜ばれています。ほかにも開き戸の下部を工夫して足指を挟みにくくするなど、細かな点にこだわること、住み心地のいい空間をつくり出しています」(佐藤)

「二つの方向性として、昔からの和の建具を見直すというのはあるかもしれませんが、極端な例ではありますが、GM高宮テラスではフリーウォールシステムを採用しています。これは、すべての間仕切りがふすまのように取り外せるようになっており、日本の建具文化を現代に活かした発想です」(石井)

「風が心地いい日や多くの人が集うときに建具を開放すれば気持ちのいい大空間になり、建具を閉めればプライバシーを守れる。可変性のある間取りは、家族構成やライフスタイルの変化に柔軟に対応できるので、長く住むことができます。そうしたつながりながら仕切るという考え方は、日本の住まいに合うように思います」(松井)

「また、IoT(Internet of Things)モノのインターネット)との付き合い方もあるでしょうね。玄関ドアにはもうIoTの導入が進んでおり、スマホのアプリを使って玄関のロックをかけられるというシステムがあります。外出先で「あれ？玄関を閉めたかな？」と不安になった経験のある方は多いでしょう。そんなときでも慌てずに済むのは便利ですね」(佐藤)

「そのうち、ドアの開閉自体も『開けコマ』など声で操作できるようになるかもしれません。ただし、そうした技術を取り入れる場合は、



に確認してアドバイスをもらいました」(松井)

「両袖に窓があればたっぷり光を採り込めるので気持ちがいいですよ。でも、蝶番側に大きなガラスがあると歪みが生じる可能性がある。なので、ガラスのサイズと扉の重さ、求めるイメージなどを確認し、実現可能な方法を一緒に探っていきましょう」(樺村)

「検討した結果として『この仕様なら大丈夫』と大鼓判を押してもらおうと安心できます。それに、そうした制約をクリアしていく過程で、見た目のデザインもブラッシュアップされていくことがあるから面白いですね」(松井)



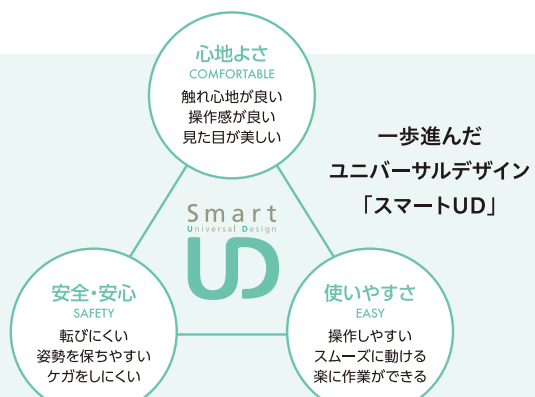
メンテナンスや安全性なども考慮し、吟味していく必要があります」(樺村)

「ここまで便利にするのか、加減の難しさはあると思います。次々と新しい技術が出てくる中で、何をどう導入していくのか。その判断基準は、結局、住まう方がいつも気持ちよく暮らせるかどうかで考えるべきでしょう。IoT導入の有無にかかわらず、GMのマンションづくりの基本、住まい手ファースト」に尽きるのだと思います」(石井)

「小さなお子様がいらつしやるのか、共働きで家族みんなが家事をするのか、介護への配慮が必要なのか、ペットがいるのか……。住まい手のライフスタイルが多様化していく中で、カスタマイズやリフォームのしやすさにも配慮し、一人ひとりの暮らしに寄り添える扉のある住まいをご提案していきたいと考えています」(松井)

「扉について考察していくと、『なんだか心地いいね』と感じる空間。暮らしの背景には、GMならではの細やかな配慮が隠されていることが分かります。今お住まいのGMもあらためて見てみると、扉まわりのデザインや空間による扉の使い分け、使われている金物など、新しい発見があるかもしれませんよ。」

建具・付属金物等は各エリアや物件の特性に合わせたものを採用しているため、本記事の内容がすべてに共通した仕様でないことをご了承ください。



積水ハウスが推進している「スマートUD(ユニバーサルデザイン)」とは、誰にとっても安全・安心で使いやすいのはもちろんのこと、「触れ心地が良い」「操作感が良い」「見た目が美しい」といった、五感に響く「心地よさ」まで追求したデザインのことです。ここでは、GMの扉まわりで取り入れているスマートUDの一例をご紹介します。



軽く下げただけでドアを開けられるショートストローク仕様のレバーハンドル。



軽く押ししたり引いたりするだけで開閉できるプッシュプルハンドル。



取手のない収納扉。指を掛ける部分には十分な深さを設け、ネイルなどで爪の長い方も手を掛けやすい形状にしています。



扉のバーハンドルと照明スイッチの高さを揃えています。見た目がすっきりする上に、扉を開けて部屋に入り電氣をつけるという動作がスムーズになります。



廊下に面する外開き扉を室内側にずらして設置することにより、レバーハンドルが廊下に極力突き出ないようにしています。衣類などが引っかかりにくく、廊下を通るときに安全性に配慮しています。



指はさみの危険性が少ない「安全配慮引き込み戸」。引き手の形状や身体の動きの検討を重ねることで、手を掛けやすく、指が引き込まれにくい形状を開発しました。



ソフトクローズ機能のついた引き戸。勢いよく開け閉めしても、枠に当たる直前にブレーキがかかり、ゆっくり静かに閉まります。